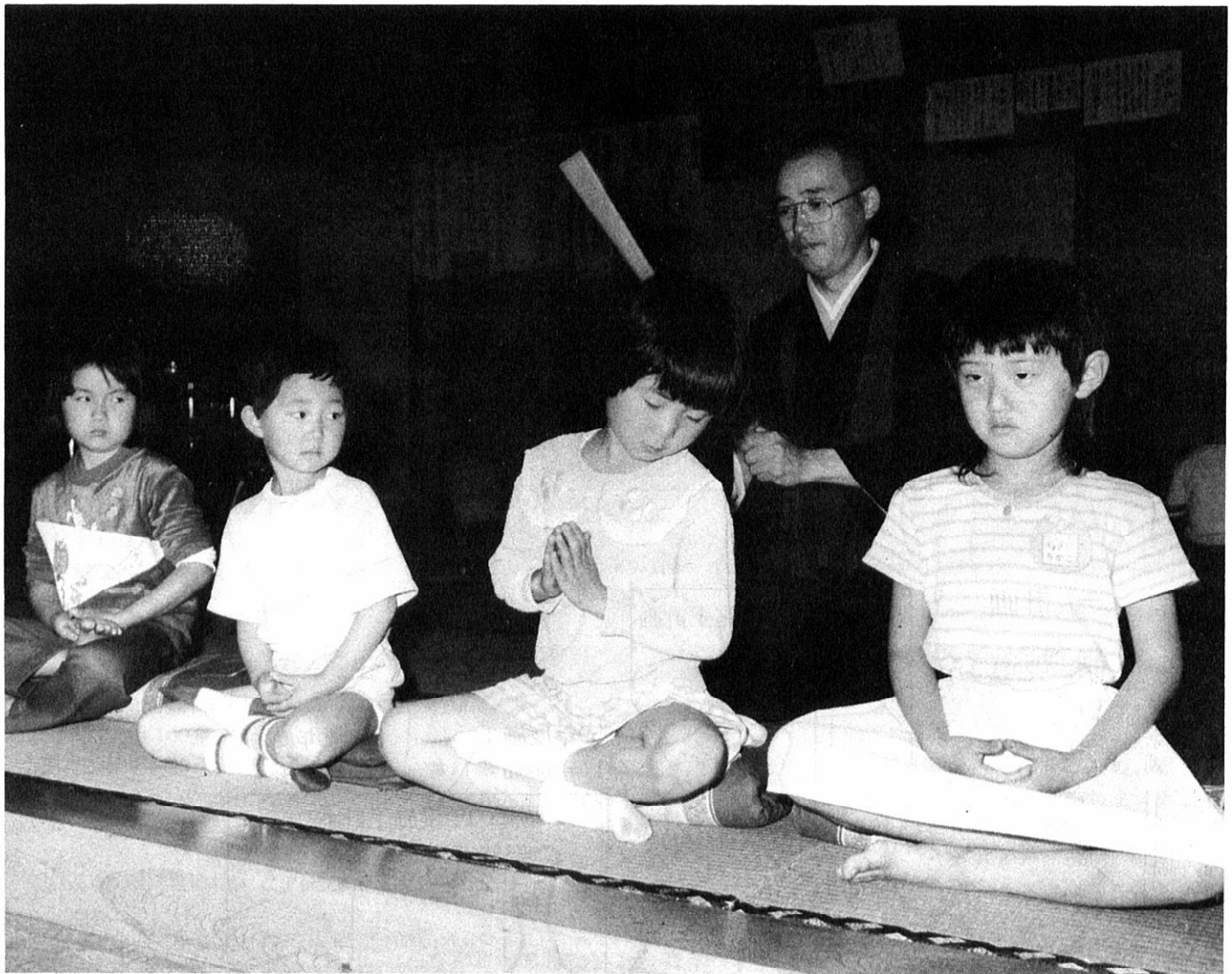




# 広報もりよし

発行・編集 森吉町役場企画開発課 秋田県北秋田郡森吉町  
米内沢字七曲51 / 印刷 米内沢中央印刷所

No. 332



昭和60年  
**7**月号

## きょうさく 警策 (眠気をさましたり、心のゆるみをいましめるために肩を打つ道具) でバシッ!

前田保育所園児は、290年以上の歴史をもつ新屋敷の福寿寺をおとずれました。

和尚さんは、園児にあいさつできるか、ウソがなく正直にその日を過ごしているのかと問いかけられたあと、「姿勢を正す」「呼吸・精神を整える」座禅に挑み、ゆれ動く体に警策の音が静かな境内に響き渡った。

—町の人口—	
昭和60年6月末現在 住民登録人口	
男	4,854 (-2)
女	5,315 (-1)
計	10,169 (-3)
世帯数	2,786 (-1)



# 大人の油断が事故を呼ぶ

## 水と花火を安全に



夏になると、昼間は水泳、夜は花火を楽しむお子さんも多いことでしょう。どちらも夏とは切っても切れない縁のあるものですが、ちょっと親が

油断をすると事故につながるということを忘れないでください。子供たちに夏を楽しく安全に過ごさせるために、保護者や大人はどうすればよいかを考えてみましょう。



### 花火の事故

## 原料は火薬です

空を飛んだり、火花が吹き出す花火で遊ぶときは、広い場所を選び、万が一紙くずに火が燃え移っても適

### 場所選び

空を飛んだり、火花が吹き出す花火で遊ぶときは、広い場所を選び、万が一紙くずに火が燃え移っても適

### 大人も一緒に

子供だけで花火をしていると、万が一紙くずに火が燃え移っても適



花火に火をつける前には必ず説明書きを読みましよう。

### 説明書きは必ず読む

切な措置がとれなかつたり、服に火が着いてやけどをすることがあります。花火をするときには必ず大人が付いてあげましよう。

花火の燃えがらを確実に消すには水が一番です。そのために水をはったバケツを用意し、燃えつきた花火やマッチは必ずこの中に入れてましよう。万一、紙くずに火が移ったとしても、この水をかければ直ちに消すことができます。

### 近くに水の入ったバケツを置く

花火には、それぞれ使い方がありましよう。同じようなかつこうをしていても、手に持って楽しめるものと、地面に立てなければ危険なものがあります。

また、花火をほぐしたり、数本まとめて火をつけたりすると大変危険です。

夏の夜、庭先での花火は蒸し暑さを一瞬忘れさせてくれるものです。しかし、家庭で手軽に扱っている花火も原料は「火薬」。ちよつと間違つた扱い方をすれば、火事ややけどなど思わぬ事故を起こしましよう。

花火で遊ぶときは必ず次のことに注意しましよう。

子供「泳ぎにいつてくるよ」  
母「車に気をつけるんだよ」  
夏の昼間の会話です。でも、ちよつとまづてくたさい。夏に限ると、交通事故死より水の事故死のほうが多いのです。ですから、もう一言「泳ぐ場所にも気をつけるんだよ」とつけ加えてくたさい。昨年の夏(六月～八月)に、水の事故で死亡したり行方不明になつた子供(中学生以下)は三百三人

水の事故  
夏は交通事故よりこわい  
でした。この時期に交通事故で死亡した十五歳以下の子供は二百二人。こうした子供の水難事故の約六割は保護者がそばにいないときに起こつていましよう。また、全体の七割は、波の荒い海や流れの速い川などの遊泳禁止などの水難防止措置が取られていない場所でききていましよう。



### 大人の注意力が事故を防ぐ

子供たちを水の犠牲者にしないために保護者や大人は、次のよう

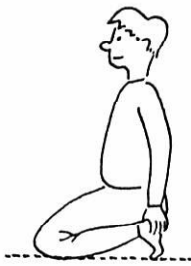
な点に十分注意してくたさい。  
▽子供たちだけで水泳や水遊びに行かせない。行くときは保護者や大人が必ず同伴する。特に、幼児がいる場合は、常に目を離さないようにする。  
▽雨降りの後などで川や用水堀が増水しているときは、子供たちを近づけないよう注意する。  
▽危険な水辺で遊んでいる子供を見かけたら、声をかけ安全な場所まで遊ばせるようにする。  
▽家の近くにさくやふたのない用水堀やため池があるときは、すぐにその管理者に申し出て、さくやふたをしてもらうようにする。

## 保健だより

### 操体法

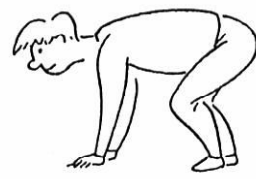


① 正座コマ運動

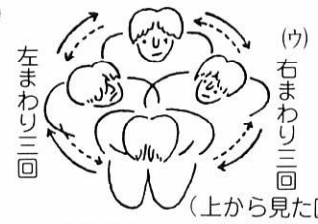


両膝をくつつけてつま立ちするように坐り、カカトにお尻の座骨がのるようにする。両手でカカトを軽くにぎる。

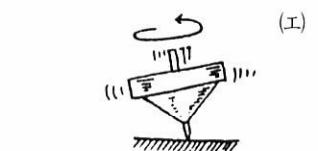
② 四つんばい試験運動



両手と両足を床につけて、適当に膝を折りまげて、らくに動ける姿勢をとる。お尻や肩を左右や前後にいろいろ動かしてみよう。  
なかなか左右は平均しないもの。これも、やりやすい方を2～3回よけいにやるとよい。



↑上体や首の力を抜き、手がカカトから離れない範囲で、カカトの上の全身をユックリまわす。首も背骨もシナルように。止まりかけたコマのように。

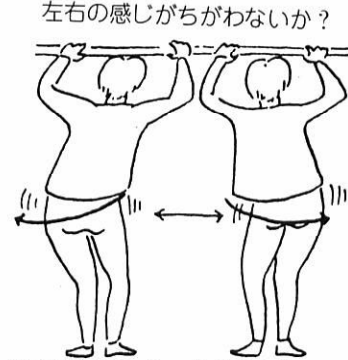


足のユビまでほとんど全身の関節が動くから歪みのありかがわかる。体のどこかにヒツカカリはないか。左右でまわりにくい方はないか。気持ちよくまわれる方(快適運動)を2～3回よけいにまわす。快適運動は、歪みを正体にもどす。痛いほうをムリに回さないこと。



体の歪みは動けばわかる  
足が痛い、腰が痛い、背中が痛い、これらはみな背骨がズレて筋がつつぱり、神経や血管に不自然な歪みをつくっているからなので。これが内臓にもひびき病気を

③ 中腰尻ふり運動



自分の頭から頭の壁や欄などに手をそえて、膝を軽くまげて、お尻を右に左にふつてみる。やりにくい、痛いほうはガンバラない。痛い方は歪みの注意信号。やりやすい方(快適運動)を2～3回よけいにやると、痛い方もらくになつてくる。

①の正座コマ運動は一日三回の食事と同様三回。②は朝おきるときと寝るときに二回。③の中腰尻ふりは立ち作業中のちよつとした時間などを利用して二～三回やってみよう。これらは長く続けることが大切。一～二回だけであきらめず、がんばつて健康づくりをしましよう。

## 7月1日より産業系焼却ごみを有料化する

焼却施設の運営に当たっては、住民の皆さんからご協力をいただいております。

この施設は、本来一般廃棄物の処理を主たる業務とし、持込みのごみについては、無料で処理してしましたが、営業にかかわる廃棄物の量が増加したため、昭和五十四年四月一日から、有料とすることを規程で定めていましよう。しかし、持込み量も少なく、事務処理も複雑なことから、徴収していませんでした。

その後量もふえ、とくに市日に出店する町外の業者もあり、焼却炉の修理にも多額の費用をかけたこともあって、七月一日より規程に基づいた手数料を徴収することにいたしましたので、協力下さい。

なお、一般家庭の廃棄物の持込みについては、従来どおり無料でありましよう。

実施期日 七月一日  
手数料納入方法 ①森吉町役場本庁、支所の窓口へ納入して利用券の交付を受けて下さい。②事前に交付を受けられない場合は、焼却場で納付して下さい。  
手数料 一台につき、二〇〇円。

## 青少年を非行から守る強調月間

7月1日～7月31日

## 近代を担う青少年

そそげ!きびしさ あたたかさ

### 非行は夏に芽生える

待ちに待った夏休みは、もう目前。子供たちのはしゃぎ声が聞こえてくるようです。しかし、少年非行の多くは、この長い休みの間に芽生えることが多いのです。親子で夏休みの過ごし方について、じっくり話し合つてみてくたさい。

■森吉警察署管内の少年非行の実態 (59年中)

・犯罪少年 (窃盗・シンナー遊び等)	14人
・触法少年 (14歳未満の少年の窃盗)	4人
・不良行為少年 (飲酒・喫煙・パチンコ等)	282人
合計	300人
学職別	
小学生	3人
中学生	11人
高校生	100人
その他の学生	16人
有職少年	136人
無職少年	34人

# 思修学い旅行出

六月三日四日、町内四小学校連合の修学旅行隊が函館を  
中心に社会勉強されました。思い出の「コマ」を紹介します。

## 米小 明石香代子

旅行の中でおもしろかった所は  
交通公園でした。出発する前は「あ  
まりおもしろそうではないな」と  
考えていたが、いざゴーカ  
ーに乗るとなるとドキドキワクワク  
してしまいました。アクセルを  
思いきりふむとスピードが出てお  
もしろかったし、カーブもスリル  
がありました。残念だったのは、  
ノンストップで行けなかったこと  
です。前の車が急にとまったので、  
びくりしてストップしてしま  
いました。運悪く、つい立てにぶつ  
かっていたので、係のおじさんに  
押ししてもらいました。もつともつ  
と乗りたかったです。

夜景も強く印象に残りました。  
山の頂きに登った時はまだ明るく、  
夕日が沈みそうになっているところ  
でした。船が進んでいて、まる  
で時間が「コマ」が経過している  
ように感じました。やがて日も沈  
んで、ぼつらぼつらとネオンがつ  
き始めました。さすが、世界三大  
夜景の一つだと思いました。世  
界一の夜景はやっぱり、函館の夜  
景ではないでしょうか。

トラピスチヌ修道院は若い人が



トラピスチヌ前前で記念写真

おおい入っているんじゃないか  
かなと想像していました。しかし、  
修道女69名のうち、20代の方が2、  
3人だけと聞いて驚きました。こ  
こに入るには厳しい条件があり、  
それらにかなってはいけません。朝3  
時ごろ起き、牛の世話、お祈りな  
どをする生活だから、私は入って  
もすぐ出てしまふんじゃないかな  
と感じました。

ホテルでは早く寝ついた人もい  
ましたが、私はあまり寝つかなか  
れませんでした。一応寝たのですが、  
朝、部屋のかげに正面しようとなつ

してしまい、ねぼけまなこで起き  
ました。もう、5、6人起きてい  
ました。窓から見ると、海がとっ  
てもきれいに見えました。ある人  
が「この景色いいな。ここさ、  
ずっと住んでみたいな。」と言いま  
した。私も同感でしたが、何日も  
たつとあきて、秋田の景色がなつ  
かしくなるなとも考えました。

植物園にも行きました。すべて  
が大きく、何十メートルもある大  
木や、40cmくらいある葉っぱもあ  
りました。熱帯の植物はとっても  
巨大になるんだなと感心しました。  
また、外にはサル山もあって、す  
ごくだれかさんにはいるサルも  
いました。やっぱり、サルは人間  
の祖先だなど思っていました。  
デパートでは、お金が足りなくな  
って、いとこの人たちには何も  
買ってこれない状態でしたが、  
そんなことも楽しい思い出の一つ  
となりました。

行きのバスと船は、函館につい  
ての想像が、そして帰りはたくさ  
んの思い出が、だれもよわせない  
大きな薬になったんではないかと  
思います。

また、みんなといきたいなあ。

## 浦小 藤本美穂子

どんよりと、いまでも雨が落ち  
てくるような天気で、ちょっと暗  
く淋しい感じがする出発でした。  
お父さんお母さん達に見送られ  
ながらバスで青森に向った。

ホテルに着いたら、函館のおば  
さんがわたしを待っていてくれ、  
ホテルの売店で「おみやげ」を買  
ってくれました。  
途中から天気にも恵まれ、コー  
スもよく、みんな楽しい旅行であ  
ったと思います。

## 前小 三浦 清亮

ぼくたち森吉町連合小学校修学  
旅行隊は、早朝からバスと船に乗  
って旅立ち、夢にまで見た北海道  
に上陸しました。

北海道第三位の町函館はなんと  
なく活気に満ちているようでした。  
見学先のトラピスチヌ修道院で  
は神に使える人たちの生活を聞き、  
温泉熱を使った市営熱帯植物園、  
あれもこれも見たい気持ちだが、次  
第にぼくの足をはやくしました。  
道で行き交う函館の人たちは、

気軽にぼくたちに手を振ってくれ  
たり、話しかけてくれたりしてと  
てもよい人たちという印象でした。  
見学が終わって到着したホテル  
は、海岸道路にそった湯の浜ホテ  
ルでした。  
津軽海峡の波打つ音がすぐ耳元  
で聞こえ、白波が目前に見渡せる  
大きなホテルでした。  
「ここで一泊出来る」と思う  
となんだか心はずむ思いでした。  
五時に夕食を済ませ、トレシャ  
ツの上にトレーナーを一枚着て、  
待ちに待った夜景を見に行く時が  
来ました。

ぼくは小さい時から、親戚や上  
級生が修学旅行に行つて来た時に  
もらった夜景の写真を見て、一度  
自分のこの目で確かめたいものだ  
と思つていたことが今実現できる  
のです。

バスでカーブの多い山道を上り  
きると、夕焼けできれいな空の下  
に予想通りの函館港が一望に見渡  
せました。しかし、ぼくの期待は  
はずれました。まだ完全に日が暮  
れていないので、明かりはぼつぼ  
つとしか見えませんでした。

暗くなるのを待つ間、ぼくたち  
は、買い物をしたり、望遠鏡をの  
ぞいたりしました。

函館山から見下ろす函館港は、  
次第に夕焼けも消え、暗くなり始  
めると、ようやく期待の明かりが  
つき始め、みるみるうちに光が増  
して行くその光景をみながら、ぼ



船の中で友達と

途中、米小の六Aと合流しバス  
の中で歌を歌いながら青森に向い  
ました。

津軽SAで朝食を食べました。

なんだか、朝食じゃなくて昼食を  
食べているような気がしました。

朝食を食べたから、結団式が行  
われた。みんなで「楽しい旅行に  
しよう」と約束しました。

バスの中では、早おきしたのか  
いねわりをしている友達も見かけ  
ました。

青森駅に着いて長い長いブラッ  
トホームから連絡船乗り場まで歩  
き続けるのは大変でした。連絡船  
がいよいよ出航です。

本州をはなれてから船内で、係  
の方や先生方の注意を聞いてから  
かんぱんに出て海を見ました。  
天気が上がったので、津軽海峡  
の海の色、空もきれいで、気持ち  
よい船旅です。

その後、席にもどって、少し休ん  
でから、またかんぱんに出て見た  
ら、大きな「イルカ」が飛び立ち  
また、泳ぎ始めました。じかに見  
たのは、はじめてだったのでびっ  
くりしました。

函館に着き、バスに乗って、見  
学最初のトラピスチヌ女子修道院  
では「イエスをだいたマリア像」  
などの「神の像」がありました。  
天使園には、いろいろな天使と、  
修道女の姿や生活などの写真が展  
示されていました。

写真をとってから、植物園に向

## たのむよ安全運転



なとわくわくしながら走りまし  
た。交通公園に着いて、がんこそ  
うなおじさんからコースなど注意を  
聞きました。ぼくは、早く乗り  
たくって説明もうわの空でした。  
やっとぼくの乗る順番がまし  
た。ハンドルをぎっしりにぎり、  
きんちょうしながらアクセルをふ  
みました。ポポッ、ポポポポ、ス  
ピードを上げると、ハンドルが軽  
く切れすぎて、コースからはみ出  
しそうになります。途中で動けな  
いでいる米小の友達もいました。  
「やっぱりみんな初めてなのでう  
まく運転できないんだなあ」と思  
ったとたん、ぼくもガツンとカー  
ブのコンクリートにぶつけてしま  
いました。前の人の車に追突した  
こともありました。短いきよりだ  
ったけど、ぼくはとってもこうふ  
んしました。車を運転するという

## スリル満点のゴーカート



いました。植物園には、「バナナ」  
などすべてめずらしい植物ばかり  
でした。外には、さる山もありま  
した。小さいサル、大きなサル、  
ねころんでいるサルなどいろんな  
サルを見ることが出来ました。中  
でも、けんかしているサルがかわ  
いいと思いました。

ホテルに帰って、夕食を食べま  
した。なべものが出て、おいしそ  
うだな、と思いました。なべもの  
は少しからいような気がしたけれ  
ども大変おいしく、全部いただき  
ました。

それから函館山にのぼって、夜  
景を見ました。着いた時はネオン  
がついていなかったけど、だんだ  
んネオンがまるで宝石を散りばめ  
たようになりました。ガイドさん  
の説明がありました。百万ドル  
よりもっと高価な、夜景が見られ  
て、よかったです。

ことは、こんなにきんちょうする  
ものとは知りませんでした。  
乗り終わってから思いました。  
それは父の運転のことです。ぼく  
達はふだんなにげなしに車に乗せ  
てもらっています。運転する父  
はどんなに気をつけて運転しよ  
うとしているかということです。

交通公園でのゴーカートに乗  
た体験は、ぼくにとつて忘れられ  
ないものでした。やはり、飲酒運  
転、いねわり運転、特に暴走運  
転は、すぐに死につながるというこ  
とを、ぼくは実感としてわかりま  
した。それから今、車を運転して  
いる人達は、はじめの時は、皆ん  
なこうだったろうなと思っていま  
す。でも何年もたつとなれてしまつて  
違反運転をするのではないだろ  
うか、ぼくは、運転する人は、いつ  
も車の免許を取りだての頃の気持  
ちを持って運転してほしいものだ  
と思いました。ぼくは大きくなつ  
て車を運転するようになったら修  
学旅行の交通公園での体験を思い  
出し、安全運転をするように心が  
けたいと思います。  
ぼく達の町にも、函館のように  
車の台数が多くなって、一台で  
もいいので、準備した交通公園が  
あったら、子どもの時から車のこ  
わさがわかり、大人になつても安  
全運転をする人がふえて交通事故  
のない明るい町になるのではない  
かなあと、帰りの船の中で考えま  
した。

# みづかな歴史 (40)

## つぎはぎの追憶

向本城の九島和七翁。昭和四十四年になくなっていく。

筆まめな人であつたらしく、翁が残した明治、大正、昭和三代にわたる克明な日記が現在、息・四郎氏の手もとに保存されている。

この日記は身辺のことばかりではなく、集落や町の動きなども詳細に記録されているので、個人史を越えた好資料となっている。

日記の明治三十八年十一月十七日のくだりに「妻を迎える。妻十四歳、和七二十歳」といふ年がある。数えの十四歳といえは今年まだ中学生だが、十二歳で嫁にきたというあるお年寄りの話を聞いたこともあるので、当時はそれが普通であつたようである。

大正の終りか昭和のはじめごろであつたと思うが、ちょうどその年ごろの少女たちの間に、今ではほとんどみることなくなった書崇(エクス・リプリス)を集めることが一時はやつたことがある。

和紙の薄片に、夢二や川上澄生の絵を木版刷りにした紙片で、少女たちにとって書崇は、本に貼るものではなく、集めて、見て、夢をふくらますものであつた。そのころ、小型の抒情詩集が多く発刊さ

れていた。どれだけ理解されたかわからないが、熱心に読みふけていたのをよく目にしたものである。

こんなこともあつた。習字紙を二つにさいてその一片を丸め、口にふくんで軽くかむとふわふわしたハンカチのようになる。それを折りたたんで、首筋や額の汗を押えるような仕草をしては満足気な顔をしていたものである。

おとめごろはいつの時代でも新しいもの、美しいものへゆれ動くものらしい。

昭和のはじめ、若者たちの間にハーマニカが普及したことがある。ハーマニカが普及したことがある。ハーマニカが普及したことがある。

新しい魅力であつた。それより前の大正時代、バイオリンが入つていた。当時としては、相当高価なものであつたはずだが、どの集落にも必ずといっていいくらいバイオリンを持つていた人がいた。

「美しき天然」や「金色夜叉」などをひいていたが、腕まえの方はキイコ、キイコといった程度の人が多かつたようである。それにしても当時この僻地のあちこちに、

どうしてバイオリンがあるのか不思議でならなかつた。入った経路はいろいろだつたらうが一つには、出かせぎの人たちが持ちこんだものも多かつたのではなかつたかと思われる。

前記和七日記に「明治三十五年十一月はじめて出かせぎに行く」としての記述がある。

出かせぎは江戸時代からあつたが、明治、大正とだんだん職種も行き先もひろがっていった。

大正時代は、新しい文物もどんどん入つてきてはいたがまだ、ラジオもテレビもなかつた。音を出す器械は手回しの蓄音器ぐらいのもので、船や汽車による旅もそのうでできるものではなかつた。そのような状態にあつたので、出かせぎの人たちが持ちこむ話題や品物は、見たことも聞いたこともないようなものばかりであつた。いつてみれば当時の出稼者は、かくれた新知識であり文化の伝達者でもあつた訳である。

いつの時代でも古いものと新しいものは混在する。ただ、昔と今とは、新しいものが古いものを吸収し終える時間に大きな違いがある。

五味堀の岸野西松翁は昭和十四年、数え八十歳でなくなつていくが、なくなるまで「まげ」を落とさなかつた。テコでも動かぬ古武士的ながんこさはさすがで、畏敬の念さえ持ったものであるが、江

# 西独青少年来町

## 民宿などで交流

自 7. 29 至 8. 1

今月二九日に西ドイツからスポーツ・ユース・ユース・ユース一七名が当町にやってきました。これは第12回日独スポーツ少年団同時交流事業として行われるもので、当町が受け入れるのは水泳班です。

一行は二九日午後米町、レセブション終了後、阿仁前田と浦田のスポーツ少年団関係者宅八軒に分宿します。三〇日は米高でスポーツ

交流、夜は浦田神社境内で模擬店交流。三一日は、小又峽を探し、夜はコミュニティセンターでサヨナラパーティー。一口に次の交流地の福島に向かいます。

毎朝、阿仁前田と浦田でジョギングとラジオ体操をしますので、どなたでもお気軽にご参加下さい。なお、当町からも高校生二名が西独に行くことになっています。

# 住宅整備資金貸付

## 母子及び寡婦家庭に

- 貸付金額 90万円以内
- 償還期間 6年以内
- 提出書類 申請書、戸籍謄本、見積書、平面図
- 申込期日 8月30日まで
- ※申込みや詳しいことは、役場福祉保健課福祉係へ ☎72-3111

# 出稼ぎされる皆さん

## 出かける前に出稼互助会に加入しましょう

●有効期限が過ぎていく人は、更新してください。  
●窓口は、役場企画開発課と前田支所です。

# 献血表彰

米内沢駅前前の武石茂さんは、献血30回で、「銀色有功章」という荣誉ある表彰を日本赤十字社より受彰されました。

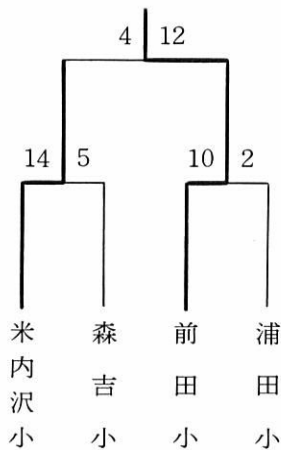


# 決勝スコア

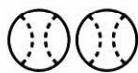
	1	2	3	4	5	6	7	計
米内沢小	2	0	2	0	0	0	0	4
前田小	1	5	2	0	3	1	×	12



確乎宣誓の三浦君

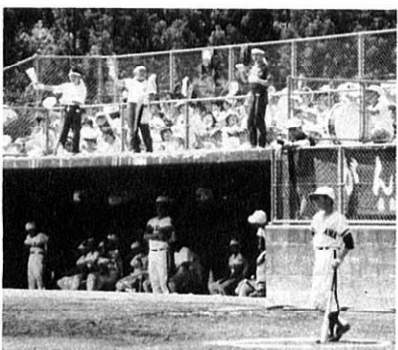
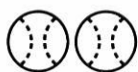


快晴の6月25日、恒例の町内小学校野球大会が森吉球場で開かれました。児童や父兄の応援を背に、各校とも持前の力強さを發揮、グラウンドにさわやかな汗を流しました。

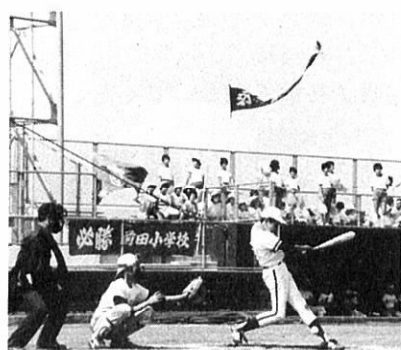


### 小勝前優

### グラウンドに汗流す 応援マナーも立派



力強いスイング フォアイト?校倒せヨ



# 道路台帳整備 調査にご協力を

国道県道台帳作成のため、県土本部では現地調査を実施しますが、私有地に立入ることでもありますので、ご協力ください。詳しいことは役場建設課へおたずねください。 ☎ 72-3111

10月1日 国勢調査にご協力を

# 心身障害児 就学相談について

- 対象 就学前(4~6歳)のお子さんで、心身の発達のことで心配や悩みをお持ちの保護者はすべて対象となります。この就学相談は、あくまでも保護者の希望によって実施するものです。
- 期日 8月23日(金)鷹巣小学校
- 方法 保護者との話し合いが中心。場合によっては簡単な診察がありますので、お子さんをつれてきてください。
- 担当者 医師や大学教授ほか
- 申込み 8月2日まで教育委員会へ ☎ 72-3259

# 交通遺児育英会 奨学生

保護者が道路上の交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないために学資に困っている学生を対象に募集しています。

- 高校奨学生 月額=国立2万円 私立2万5千円

●専修・各種学校奨学生、大学奨学生、入学一時金などもあります。詳しくは、〒100東京都千代田区永田町1-11-28 財団法人交通遺児育英会 ☎ 03 581-2271

# 建設業関係の皆さんへ

建設業を営む方々及び建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか。この制度の特色は、建設業という一つの業種の中で働く間は、全国どここの事業所で働いた場合でも事業主が掛金を出し合い、建設業に従事しなくなった時、各事業主に雇用された期間全部を通算して退職金を支払う制度です。詳しくは秋田県建設会館におたずねください。 ☎ 0188 (23) 5495



### 乳幼児健診

- ◆乳児健診  
7月25日(木)前田集落センター
- ◆育児相談  
7月30日(火)コミュニティセンター
- ◆一才六カ月児健診  
7月25日(木)前田集落センター

### 母子手帳交付日

- 7月24日(水)コミセン (栄養教室)
- 8月7日(水)役場  
妊婦さん本人がおいでください。

### 「無料」技能講習会

職安鷹巣出張所では、秋冬期に出稼ぎする者で建設機械の運転、建設作

業従事者に対して講習会を開きます。

- ◆車輛系建設機械運転  
8月5日(月)～9日(金)5日間
- ◆足場の組立等作業主任者  
8月15日(木)～16日(金)2日間
- ◆場所、講習時間  
鷹巣町中央公民館 8時～16時  
詳しくは職安へ ☎ 62-1240

### 交通事故で困ったら

交通事故は、被害者にも加害者にも大変な負担です。

-----もし、起きてしまったら、ひとりで悩まないで、すぐ相談しましょう。保険や事故の解決方法などについて、秋田自動車保険請求相談センターは無料で相談に応じます。

- ◆場所 秋田市中通3丁目2-44 (河北ビル5F)  
☎ 0188-32-3279
- ◆相談時間  
平日 9時30分～16時40分  
土曜 9時30分～12時
- ◆弁護士相談日  
毎週木曜日 13時～16時

### 募集 自衛官

自衛隊では、二等陸士・二等海士及び二等空士を募集しています。

- ◆募集期間 7月1日～9月30日  
詳しくは、自衛隊秋田地方連絡部大館出張所へおたずねください。  
☎ 0186 (42) 1398

### 募集 学生の夏季合宿

#### 自然の中でいい汗流そう!

- ◆期間 7月14日(日)～8月23日(金)
- ◆宿泊料 お一人様 (1泊3食付) 5,000円 (シーツ等持参の場合 4,000円)
- ◆体育館・バレーコート1面・テニスコート2面 (屋外)

#### スポーツ後は温泉にひたって!

「森吉山荘」— 0186 (76) 2334

体力づくりに

みんなの手で  
明るく住みよい  
町にしましょう。

- |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 安東洋子 | 桜庭正文 | 吉田珠子 | 村山昇  | 福山恵昇 | 佐藤幸光 |
| 長川下  | 合川町  | 川向   | 新市   | 新町   | 巻淵   |
| 二万円  | 三万円  | 三万円  | 三万円  | 三万円  | 三万円  |
| 大岱   | 上羽立  | 小又   | 七曲   | 松山町  |      |
| 工藤一郎 | 本田末吉 | 織田直松 | 松橋耕作 | 笠原信統 |      |

### ご結婚 おめでとう



- |                    |                  |                   |                   |                  |                  |                 |                  |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|
| 藤島 桜香 (元昭・長女) 前田駅前 | 土佐 正頼 (義信・長男) 堺田 | 庄司 豊子 (光康・長女) 八幡森 | 石川 智也 (鶴信・長男) 鷲ノ瀬 | 武石 亜沙美 (博・長女) 浦田 | 三沢 祥彦 (行彦・三男) 大杉 | 武石 陽子 (直・二女) 本城 | 武田 昌大 (富夫・長男) 日栄 |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|

### お誕生 おめでとう



香典返し

善意

- |             |              |              |              |             |
|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 庄司 太市 (85才) | 石川 トミエ (89才) | 工藤 ミチエ (68才) | 松橋 佐五郎 (80才) | 田崎 リコ (57才) |
| 通根 町        | 羽大 根         | 大七 根         | 白曲 根         | 坂           |

### おくやみ



- |      |      |      |      |      |      |      |       |      |       |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| 立石悦子 | 田中敏雄 | 松橋正彦 | 近藤忠彦 | 佐藤和実 | 萩野秀也 | 近藤藤子 | 武田とも子 | 伊藤博仁 | 金文ゆき久 |
| 比内町  | 下前   | 新田   | 大淵   | 鶴田   | 川向   | 松田   | 鷹巣    | 昭和   | 本町城   |

7月31日は国民健康保険税 2 期分の納期限です。忘れずに納めましょう。